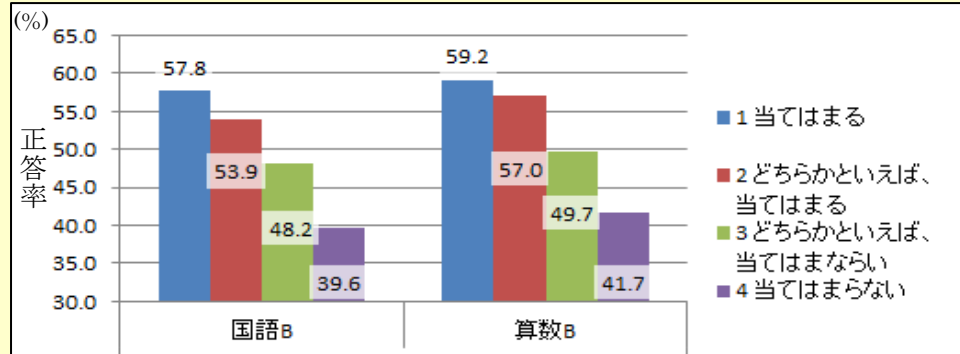


ノート指導

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査、児童質問紙 71 と教科の正答率のクロス集計から

質問番号	質問事項
(71)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



左のクロス集計のグラフより、この2つ相関関係が認められる。したがって、**ノート指導は学力育成の重要なポイント**である。

ノート指導のポイント

1時間で見開き2ページが基本

ア 学習の足跡がふりかえられるノートに

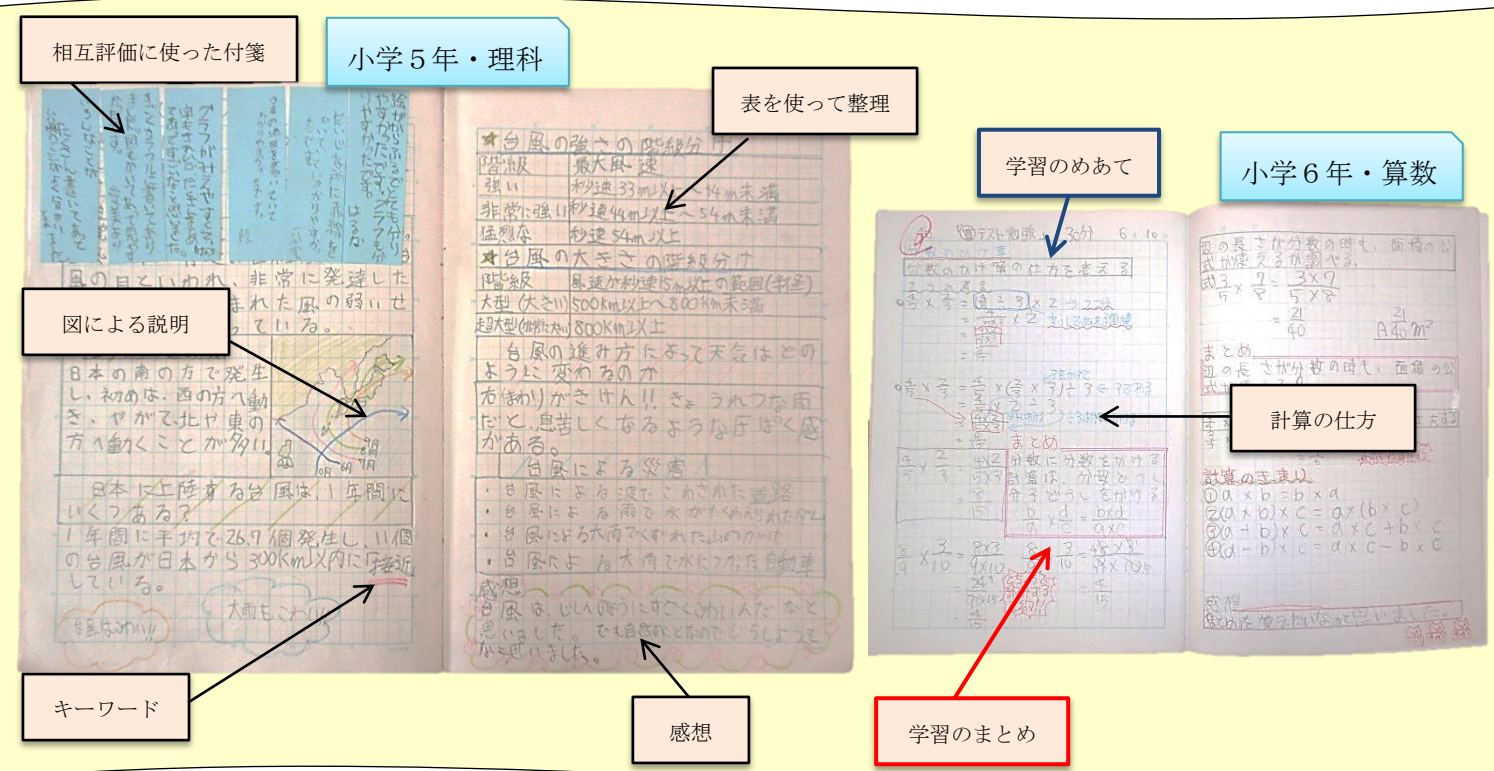
復習のために役立てられるような欄をページの中に作りましょう。学習を進めていく過程で、前時の学習内容を振り返るときには、自分の考えが整理されたノートが大きな効果を上げることは言うまでもありません。

イ 自分の考えをまとめるノートに

ノートには黒板に書かれた内容をただ記録するだけでなく、いろいろな事実や資料を通して、考えたことや知ったことを自分の言葉で書かせたり、イメージしたことなどを図や表に表現させたりすることで、新たな考えを生み出すという視点も大切です。

ウ 学習内容を定着させるためのノートに

練習を積み重ねることによって、知識の定着や学習内容の理解につながります。たとえ練習であっても、ノートに丁寧に書く習慣を身に付けさせましょう。



板書

板書で学力向上

ノートが子どもたちの学習に役立つものになるよう、板書とノート指導を連動させることが大切です。板書は、授業で教師が指導する内容について、子どもが考えたり、理解を深めたりするために行います。そのためには、1時間の学習のねらいや授業の流れを板書で適切に示したり、考えるために必要な知識などを整理して示したりする必要があります。

板書のポイント

ア めあて振り返りが明記された板書に

学習課題やめあてを黒板に明記することで、児童の思考が始まる。また、振り返りの場面で板書を見れば「何を考え」「何が分かったか」など、学習課題やめあてを意識した振り返りができ、児童自身が本時の学びを整理することができる。

イ 思考の足跡が見える板書に

出された意見を整理・分類して示すなど、個人や集団の思考の流れがよくわかるように工夫する。

ウ 思考を広げ、深める板書に

思考ツールを用いるなど、出された意見を比べたり、つなげたり、まとめたりできるように工夫する。

板書する内容

- ①日付 ②単元（題材）名 ③学習のめあて
- ④学習活動の見通し ⑤理解させたい内容の要点
- ⑥子どもの発言、発表 ⑦全体のまとめ

板書の基本的事項

- 書いているときの様子も、書かれた文字等も児童の手本です。そこで、次のポイントに気を付けましょう。
- ・筆順に気を付けて、楷書で丁寧に書きましょう。
 - ・誤字脱字をなくしましょう。
 - ・見やすいチョークの色や文字の大きさになるよう気を付けましょう。

板書とノートの連動

